

合同会社くすのき保育園

【企業主導型保育】くすのき保育園

(東京都足立区六月1-20-26)

### 【“子どもの主体性”を尊重した保育】

#### ☆「子どもの主体性を語るのは、難しい」

保育を言葉で表すって、難しいですよね。何でもない、地味なことの積み重ねのような感じがしています。うちの園でコレというものあるかしら…と、門先生。是非一緒に探させてください！保育者と子どもたちの声が飛び交う、明るい保育園です。

#### ☆「お散歩に行きたくない！」こんな時は？

「お散歩行きたくない！」2歳の子どもの主張に園長が一對一で関わり約30分。ケロリとした表情で、気持ちを切り替えられ無事合流。

「あの30分は一体なんだったんだろうと大人は考えがち。表せない意味がある、子どもにとってはとても大切な時間なんですよね。」職員に保育を任せ、いつでも助っ人体制。職員を信じて尊重して、園長は「さりげなく」「頼もしく」存在します。



### 【園長ってどんな人？職員インタビュー！】

#### ☆「働きやすさと預けやすさを、常に考えてくれる」

小規模だからこそ、細かな事情や要望に柔軟に対応できる強みがあります。保育園を創ろうと思ったきっかけは、この地で自営業をされていたお父様の存在。地域の繋がりの強さを実感し、大切に育てていきたいと思ったそう。ご家庭の声も、子どもの声も、職員の声も、全て大事。皆の声に足を止めて、寄り添う日々我真っすぐな想いが伝わります。

### 【私たちが参加します！】



門先生は27年目、3児の母でもあるそうです。これまで経験した保育施設は10園以上、「自分が苦労してきた分、職員には楽しく働いてほしい。」と語ってくださいました。

子どもの想いを「分かる」だけでなく、「足を止める」が大事。そう話してくれた齊藤先生。この子は何がしたいのかな？を一人ひとり、職場丸ごとで考えています。

(写真左：副主任 齊藤 いずみ  
右：代表社員 兼 園長  
門 麻美)